

～みんながかかわる 里山・里海～

水は、山と里、海へと流れ、そしてまた大気を通じて私たちの暮らす土地に帰ってきます。

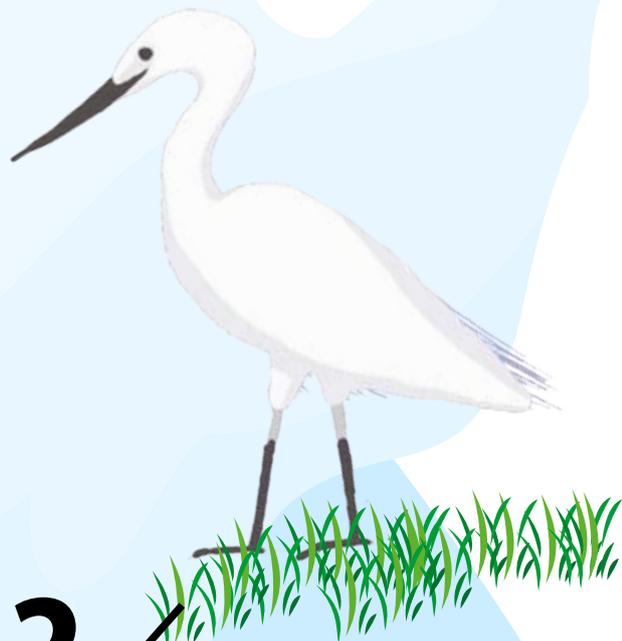
この大きな循環を通じて、水は人と人、地域と地域をつないでいきます。

水にはさまざまな顔があり、水に対する人々の思いも関わり方もさまざまです。

時には深刻な利害対立が生じることもあります。

水に関わる環境をよくしていくためには、立場を異にする人達がともに理解し合い、関わり合い、実際に行動していくことが望まれます。

本大会では、水に関わる人と人、水を介した地域と地域のつながりに焦点をあてます。



ご参加待っています！

2014年

12 / 6 (土) ・ 7 (日)

広島大学東広島キャンパスなど

理学部・理学研究科 E102 教室ほか

■12月6日(土)

- 9:00- 11:00 現地見学会 『山のグラウンドワーク in 龍王山』
- 13:00-17:00 全体会 東広島市における水郷水都活動
- 18:00-20:00 交流会

■12月7日(日) *分科会名は予定です。

- 9:00- 11:30 分科会 分科会1：里海(湖)の環境再生
分科会2：防災・水資源開発・住民自治
分科会3：伝える・つなげる
- 11:30-12:30 ポスターセッション／昼食
- 12:30-14:00 全体会 まとめ
- 15:00-16:30 現地見学会 西条酒蔵通り

参加費

- 全体会・分科会 500円
※学生・院生は無料
- 見学会 2,500円
- 交流会 5,000円

詳しくはホームページへ

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/suigou30/>

《参加申し込み方法》

HPからオンライン申込みできます。
または、参加申込書をダウンロードして、
メール、FAX、郵送などでお申込みください。

お問合せ先はコチラ

広島大学総合科学研究科 浅野敏久
suigou30@hiroshoma-u.ac.jp

■プログラム

12月6日(土)

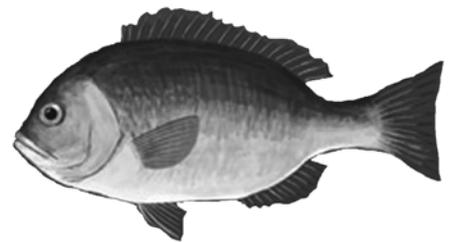
- 08:30 JR 西条駅前集合
- 09:00-11:00 **現地見学会 1** 山のグラウンドワーク：山・水・酒・米・エネルギーのつながり
[場所／龍王山(東広島市西条町寺家)]
- 12:00-13:00 **全体会受付** [会場／広島大学理学部 E102 教室]
- 13:00-17:00 **全体会** 東広島市における水郷水都活動：水に関わる市民の実践
基調報告：山づくり、水づくり、美しいふるさとづくり(西条・山と水の環境機構)
地域の報告：豊栄でのオオサンショウウオ保護活動(東広島オオサンショウウオの会)
地域の報告：沼田川の環境を守る活動(すいすい倶楽部)
地域の報告：黒瀬川の環境を守る活動(黒瀬川 e-co 隊)
質疑応答・討議
- 18:00-20:00 **交流会** [会場／広島大学生協北 1 レストラン]



東広島市の龍王山を中心とした山のグラウンドワークは、活動を始めて 10 数年が経過し、国内外から注目されるようになりました。また、市北部では国の特別天然記念物であるオオサンショウウオが生息し、その保護活動が盛り上がりつつあります。さらには、住民が自分たちの身近な川を保全し地域づくりに活かす活動も、川ごとに個性的な展開をみせています。一方、これらの活動は課題も抱えています。現状を報告するとともに、各地からお集まりの方々とともに忌憚のない意見交換や情報交換を行います。

12月7日(日)

- 09:00-11:30 **分科会** [会場／広島大学理学部 E002、E102、E104 教室]
分科会 1：里海(湖)の環境再生
瀬戸内海、宍道湖・中海、霞ヶ浦、琵琶湖、沖縄辺野古ほか
分科会 2：治山・治水・水資源：開発と住民自治
広島土砂災害、荒瀬ダム、長良川河口堰、霞ヶ浦導水、藤沼湖決壊、泡瀬干潟
分科会 3：伝える・つなげる：環境教育・環境市民活動など
吉野川、信濃川、琵琶湖、山口・広島での活動ほか
- 11:30-12:30 **ポスターセッション／昼食**
- 12:30-14:00 **全体会** [会場／広島大学理学部 E102 教室]
初日の報告ならびに分科会報告
水郷水都全国会議の総会
大会宣言
- 15:00-16:30 **見学会 2** [場所／西条酒蔵通り(JR 西条駅周辺)]
- 16:30 **解散**



全国各地からの報告を中心に 3 つの分科会とポスターセッションを行います。分科会 1 では「里海(湖)の環境再生」をテーマとして、瀬戸内海の再生にかかる取り組みなどを紹介し、今、これらの水域が抱えている問題を論じます。分科会 2 では「治山・治水・水資源：開発と住民自治」をテーマに水環境と住民関係を問い直します。分科会 3 では「伝える・つなげる」をテーマとして、環境教育・エコツーリズム・環境市民活動などに関する報告を集め、30 周年を迎えた水郷水都運動を次世代に引き継いでいくための課題などを議論します。

